

ADAM-6066 製品変更のお知らせ

このステートメントは、アドバンテック イーサネットI/OモジュールADAM-6066-CEに関する処置が記述されています。ADAM-6066の供給を続けるため、ADAM-6066-BEは2014年からADAM-6066-CEに改訂されています。

リリース情報

ADAM-6066-CE: 2014年1月リリース

ADAM-6066-BE: 2014年3月最終出荷

製品変更の理由

主要なコンポーネントサムソン社 ARM 7フェーズアウトにより、2012以降ベンダーから提供されていないためADAM-6066-BEの生産が影響を受け、改定となりました。

新機能/主な特長

次の機能強化がはかられています:

DHCP、グループ設定、ユーザ定義Modbusアドレス割り付け、デフォルト設定リセット機能、HTML5ベースのWebサーバ対応などがADAM-6066の改定により実装されています。

ユーザ定義Modbusアドレス割り付け

今回のレビジョン変更によりModbus割り付けをより柔軟でスケーラブルな方法を提供するために、Modbusアドレス設定をユーザによって設定可能としました。Modbusアドレスセクション(0Xおよび4X)の2種類について、ユーザは自分自身のアプリケーションに合わせて指定されたI/O機能のModbusアドレスを設定することができます。

以下のスクリーンショットは、ADAM-6066-CEのModbusアドレス設定ページになります。

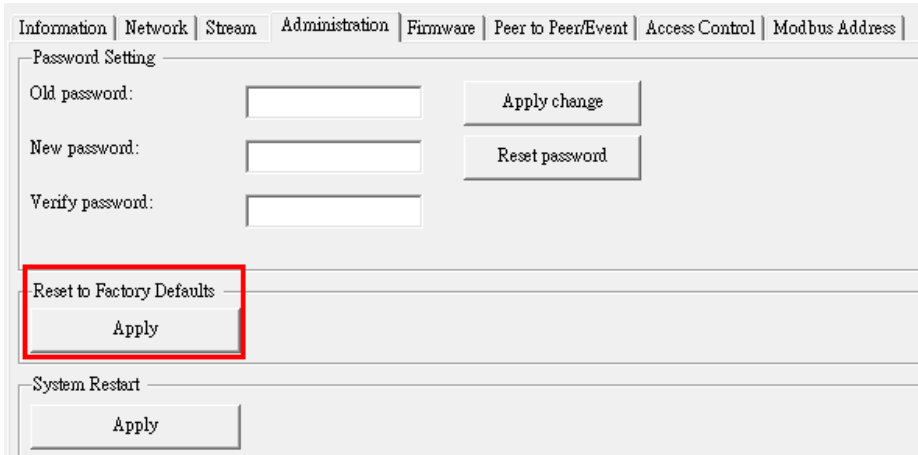
| Coils Status (0X) : | | | |
|---------------------|--------|------|--|
| Item | Length | Base | |
| DI status | 06 | 0001 | |
| DO status | 06 | 0017 | |
| Counter switch | 24 | 0033 | |
| Clear GCL counter | 08 | 0057 | |

| Holding Registers (4X) : | | | |
|-------------------------------|--------|------|--|
| Item | Length | Base | |
| Counter frequency | 12 | 0001 | |
| Pulse output low level width | 12 | 0013 | |
| Pulse output high level width | 12 | 0025 | |
| Set absolute pulse | 12 | 0037 | |
| Set incremental pulse | 12 | 0049 | |
| Module name | 02 | 0211 | |
| DI status | 01 | 0301 | |
| DO status | 01 | 0303 | |
| GCL flag | 01 | 0305 | |
| GCL counter | 16 | 0311 | |

Refresh Apply

工場出荷設定へリセット

ユーザはADAM.Netユーティリティを使用して工場出荷時設定にADAM-6000モジュールのすべてのコンフィギュレーションをクリアすることができます。この機能によりADAMモジュールを新しいプロジェクトに再使用する場合等で役立ちます。



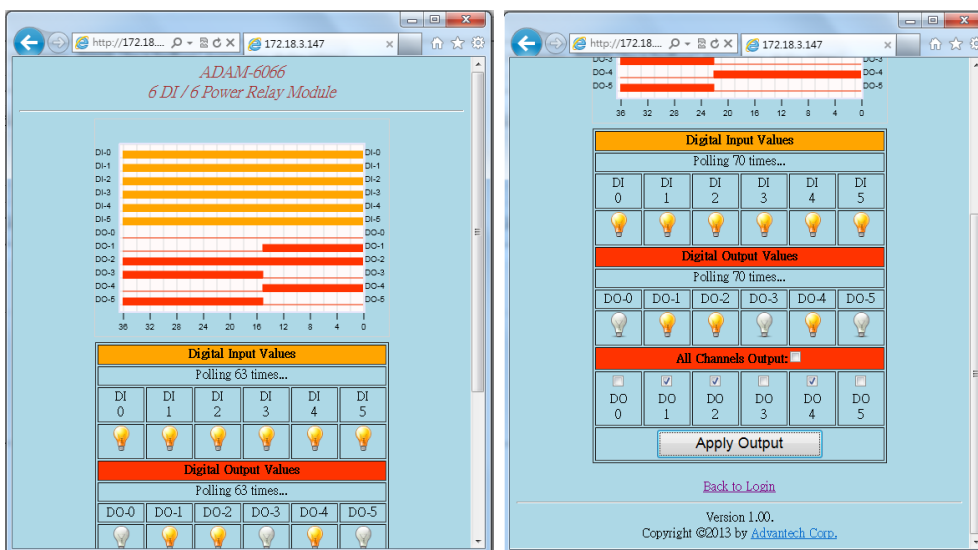
HTML5対応ウェブサーバ*

ADAM-6000のリビジョン変更により、SCADAシステムなしにユーザがリモートでスマートデバイスのI/Oデータをウェブサービスで取得するための基本的な方法として、最新のWeb言語 (HTML5) とWebベースのソフトウェアスタイル (REST) を統合しました。ユーザはスマートフォンやタブレットのWebブラウザを使用してI/Oモジュールにリモートアクセスできます。

以下はアクセス手順

- 1) PC/スマートフォン/タブレットを使用してADAM-6000のネットワークに接続
- 2) ADAM-6000のIPアドレスをウェブブラウザに入力しページを開く
- 3) ログインして、ADAM-6000モジュール上のI/Oにアクセス(デフォルトのユーザ名: root、パスワード: 00000000)

Internet Explorerによるウェブ表示は以下:



さらに、デフォルトのウェブサーバをADAM.Netユーティリティでエクスポートすることができ、またRESTアクセス命令を編集することができます。

*ご注意: ADAM-6066-CEのデフォルトのウェブサーバは、HTML5ベースの1つに固定されていません。ユーザは [製品ページ](#) から最新ウェブサーバ(htmlファイル)をダウンロードし、ADAM-6066モジュールにインポートしてください。

グループコンフィギュレーション

特定のアプリケーションでは、異なるフィールドに同じタスクを行う複数のモジュールを同じ設定で使用する場合があります。またユーザは現場でモジュールのコンフィギュレーションを設定する必要があります。これはメンテナンス時、また複数のモジュール用のファームウェアアップデートを実施する反復的な作業が必要でした。今回のADAM-6000レビジョン改定により、ユーザが同時に複数のモジュールを構成できるグループコンフィギュレーション機能を搭載しました。設定ファイルのエクスポートとダウンロードはADAM.Netユーティリティを使用でき、この設定ファイルにはデバイス情報、一般情報、P2P & ストリーミング、GCL設定とModbusアドレスXMLファイルが含まれています。多くのADAMモジュールを搭載したシステムのインストール時間を大幅に短縮することができます。また、モジュールのファームウェアファイルと、HTMLウェブサーバファイルも同時に複数のモジュールに配信することができます。

レビジョン比較表

ADAM-6066-BEの機能をカバーするだけでなく、ADAM-6066-CEはユーザーのためのより多くのインテリジェンスと機能を提供するように設計されています。主な機能の違いは、以下のレビジョン比較表に示します。

| | ADAM-6066-BE | ADAM-6066-CE |
|---------------------------|--------------|--------------|
| DHCP* | 非対応 | 対応 |
| ピア・トゥ・ピア | 対応 | 対応 |
| GCL (グラフィック・コンディション・ロジック) | 対応 | 対応 |
| ユーザ定義Modbusアドレス割付* | 非対応 | 対応 |
| 工場出荷時リセット* | 非対応 | 対応 |
| HTML5対応ウェブサーバ* | 非対応 | 対応 |
| グループコンフィギュレーション* | 非対応 | 対応 |

* これらの機能は、ADAM.Netユーティリティのアップデート版でのみ動作させることができます。

取扱い上のご注意

ハードウェア仕様において、ADAM-6066-BEとADAM-6066-CEは、同じI/Oコネクタで同一のピン配列となっています。

ソフトウェアの仕様においては、ADAM-6066-BEとADAM-6066-CEのファームウェアは異なります。それらは異なるハードウェア構成ですので同一にはなりません。ADAM.Netユーティリティを使用してファームウェアのバージョンを確認することができます。

| Model Name | ファームウェアバージョン |
|--------------|--------------|
| ADAM-6066-BE | V5.00未満 |
| ADAM-6066-CE | V5.00以上 |

ADAM.Netユーティリティの更新することにより、ADAM-6066-CEが提供する新しい機能を簡単に設定できます。ADAM-6066-CEのすべての機能を使用できるようにするには、V2.05.05より高いバージョンのADAM.Net Utilityをインストールしてください。古いバージョンADAM.Netユーティリティがプラットフォームにインストールされている場合、最初にそれを完全に削除してから、新しいバージョンをインストールしてください。新しいバージョンのユーティリティ(V2.05.05以上)では、ADAM-6066-BEとADAM-6066-CEがサポートされます。

ADAM-6066のファームウェアおよびADAM.Netユーティリティの最新バージョンは、[製品ページ](#) からダウンロードできます。